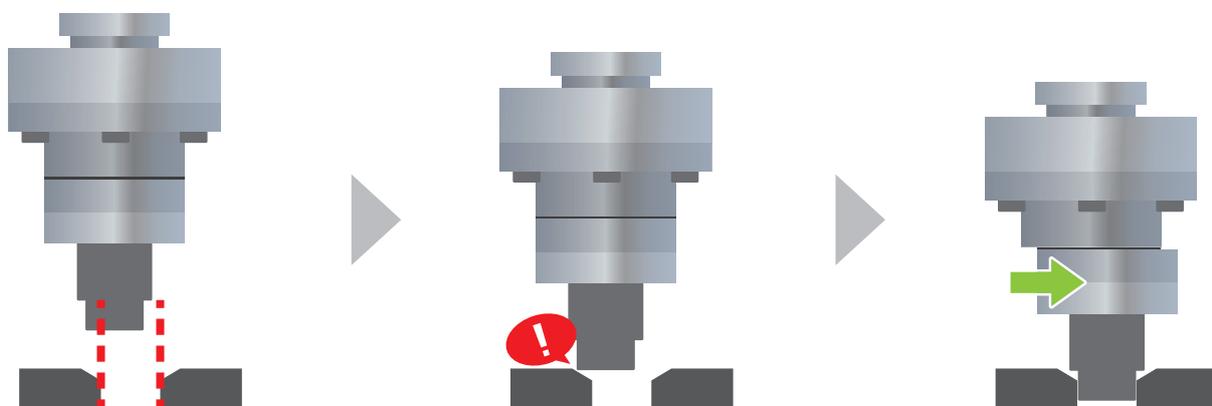


圧入工程の 芯ズレ自動補正デバイス

UPFG

芯ズレを自動で補正することで
ワークの破損や変形を防ぎ
正確な判定を行えます



圧入時に芯ズレがあっても

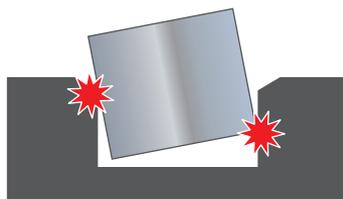
テーパ面に接触すると

ズレを自動で補正

ワークの破損や変形を防ぎ、歩留まり率を向上



キズ、こすれ、割れ
オイル漏れなどを
防ぎます

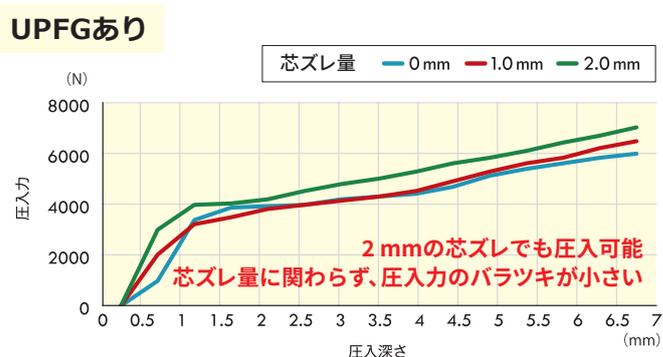
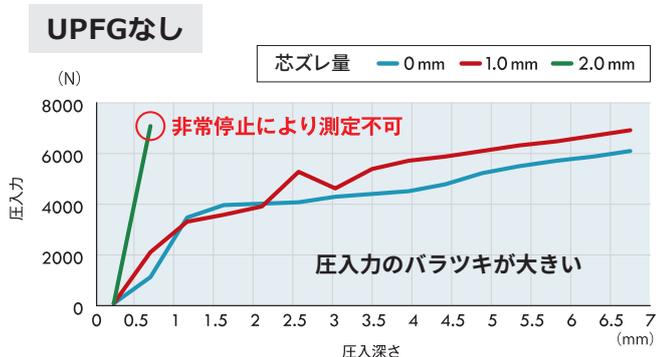


遊びによるズレ
無理な押し込みによる
ワークの破損や変形を
防ぎます

毎回同じ条件で判定が行えます

芯がズレていると圧入荷重が上がってしまうことがあるため、異常荷重が出た際の原因が芯ズレなのか加工精度なのかが判別できません。

UPFGで芯ズレを補正できれば加工精度による要因のみで良否判定が行えます。



多くのメリット

● 圧入スピードUP!

速度を上げてワークの破損のリスクは低減

● 設備の長寿命化

偏荷重を防ぎ、設備や治具の摩耗を低減

● 1対複数の圧入がスムーズに

1つのプレスで複数の穴に順番に
圧入する場合の芯合わせが楽に

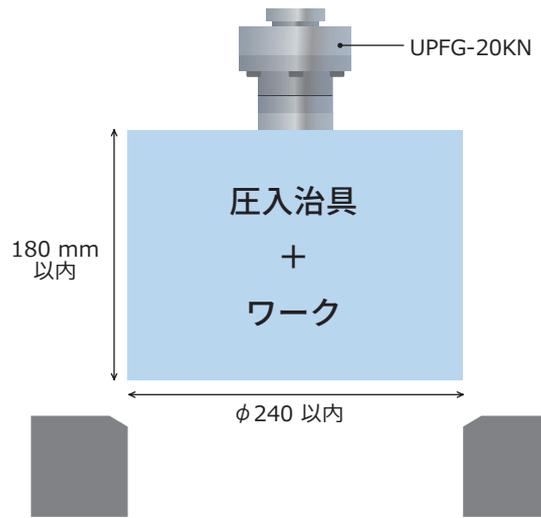
● 段取り替えが簡単に

治具の付け替えで芯がずれても大丈夫

仕様

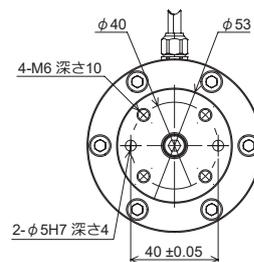
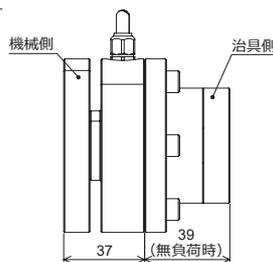
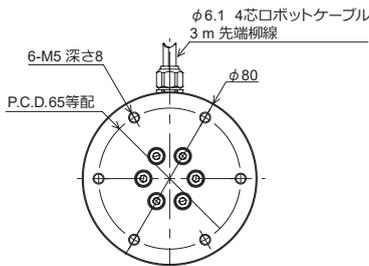
型式	UPFG-20KN	UPFG-50KN	
定格容量	20 kN	50 kN	
本体	圧入ツール負荷容量	5 kg 下向きに使用する場合に下側に取り付けられる治具の最大重量	
	水平誤差修正範囲	±2 mm	
	回転誤差修正範囲	原点時: ±6.6° 2 mm ST時: ±1.4°	原点時: ±5.3° 2 mm ST時: ±1.1°
	繰り返し精度	水平: ±0.5 mm 回転: ±1.0°	
	始動抵抗	約 7 N 最大ツール負荷5 kgを搭載した状態での数値	
	セット荷重	150 N±10%	200 N±10%
	着座荷重	400 N±10% 天板が本体ベース部に着座する時の荷重	
	垂直ストローク	0.5 mm	
	重量 (ロードセルを含む)	約 1.9 kg	約 2.8 kg
	ロードセル	定格出力	約 2 mV/V
許容過負荷		150% R.C.	
ゼロバランス		20%	
非直線性		0.5% R.O. 以下	0.75% R.O. 以下
ヒステリシス		0.5% R.O. 以下	0.75% R.O. 以下
繰り返し性		0.3% R.O. 以下	
補償温度範囲		0℃ ~ 60℃ (結露不可)	
ゼロ点の温度影響		0.5% R.O./10℃ 以下	
出力の温度影響		0.5% R.O./10℃ 以下	
入力端子間抵抗		約 1000 Ω	
出力端子間抵抗		約 1000 Ω	
推奨印加電圧		10 V	
最大印加電圧		15 V	
ケーブル		φ6.1 4芯ロッドケーブル 3 m 先端柳線	

● 使用可能サイズ

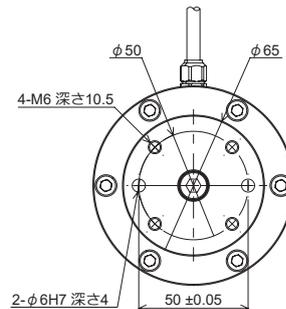
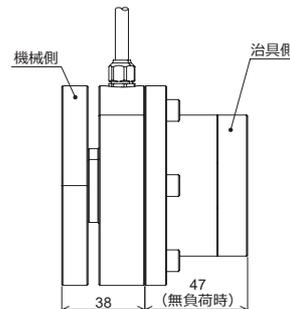
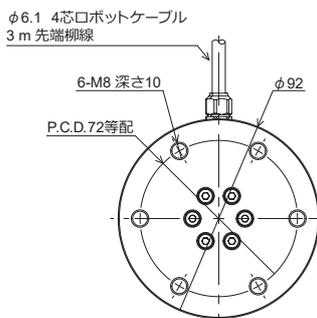


外形寸法

■ UPFG-20KN



■ UPFG-50KN



単位:mm

本カタログに記載の仕様およびデザインは製品改良のため予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

